

【例題—大卒教養1】

世界各地の独立運動に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ウクライナのクリミア半島は、ロシア系住民が多数を占める地域であり、住民投票においてウクライナからの独立とロシアへの編入が賛成多数となった。欧米諸国が非難する中、ロシアはクリミア半島の編入を宣言した。
2. 中国の新疆ウイグル自治区は、チベット仏教を信仰するウイグル族が多数を占める地域であるが、移住してきた漢族との間で対立がある。独立を求めて暴動や襲撃事件が多発している事態を受けて、中国政府は将来の独立を約束した。
3. クルド人は中央アジアを中心に居住する民族である。ソ連崩壊後、居住地域がカザフスタンやウズベキスタンなどに分断されて、各国で少数民族となっており、独立運動を展開している。
4. カナダのケベック州は、カナダの他の地域でフランス語系住民が多いのと異なり、英語系住民が大半を占めており、以前から独立運動が絶えない。独立を求めて活動する過激派もおり、テロ行為を繰り返している。
5. 英国北部のスコットランドでは、独立を掲げる政党が躍進し、英国からの独立を問う住民投票を、英国政府の反対を押し切って実施した。住民投票に向けて独立の気運が急速に高まり、圧倒的多数で独立が可決された。

(正答) 1